記者発表資料

平成３０年１２月２７日
仙台都市圏の将来を考えるシンポジウム実行委員会

仙台都市圏の将来を考えるシンポジウム
～東北の真の復興に向けて～
を開催します

仙台都市圏では近年、高速道路をはじめとする交通インフラ整備の進展、国際観光交流の活性化などにより、東北地方のゲートウェイとして、物流・交流拠点間の連携強化や交通結節機能の強化が求められております。仙台都市圏における物流・人流の現状を踏まえ、東北の真の復興に向け、仙台都市圏はどのような役割を果たすべきかについて議論を行うことを目的としたシンポジウムを下記のとおり開催いたします。

■ 日　　時 ： 平成 31 年 2 月 3 日(日)　10:00～12:30
■ 会　　場 ： ホテルメトロポリタン仙台　４階　千代
仙台市青葉区中央１丁目１－１
■ 主　　催 ： 仙台都市圏の将来を考えるシンポジウム実行委員会
(国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所、仙台市、
東北経済連合会、東日本旅客鉄道株式会社、宮城県、宮城県バス協会)
■ 内　　容 ： 別紙のとおり
■ 参 加 費 ： 無料
■ 定　　員 ： 約 300 名（申し込み先着順、どなたでもご参加できます）
■ 聴講申込 ： 別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX または E-mail
FAX:022-248-4164　E-mail：thr-sendai01@mlit.go.jp
平成 31 年 1 月 25 日（金）までにお申し込みください。
■ そ の 他 ： 取材をご希望される場合は、平成 31 年 1 月 28 日（月）17 時までに別添の「取材登録書」を仙台河川国道事務所あて FAX 送信願います。

【記者発表会】宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問合せ先

仙台都市圏の将来を考えるシンポジウム実行委員会事務局

国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所　副所長　遠藤（えんどう）　雅司（まさし）（内線 205）

調査第二課長　清橋（きよはし）　秀聡（ひであき）（内線 451）

TEL:022-248-4131（代表）　FAX：022-248-4164



東北の真の復興に向けて



日時

平成31年
2月3日(日)
10:00～12:30
(開場 9:00～)

仙台都市圏の将来を考えるシンポジウム

program プログラム

※敬称略

10：00　開会・挨拶

10：15　基調講演

テーマ「仙台都市圏の物流・人流の現状と課題」
「仙台都市圏が果たすべき役割」

講　師：東北大学教授（大学院工学研究科土木工学専攻）　**奥村　誠**

11：00　パネルディスカッション

テーマ「東北及び宮城県の復興の現状と課題」
「東北の「真の復興」に向けた仙台都市圏が目指すべき方向性」

コーディネーター：東北大学教授（大学院工学研究科土木工学専攻）**奥村　誠**

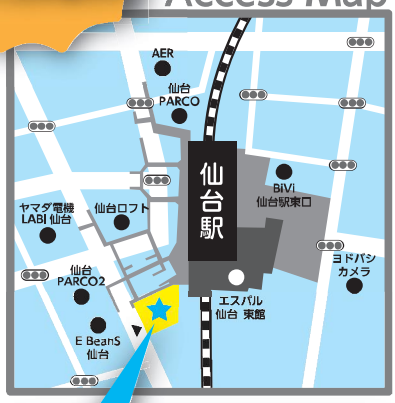
パネリスト：（50 音順）

宮城県バス協会会長	**青沼　正喜**
東北経済連合会会長	**海輪　誠**
仙台市長	**郡　和子**
東日本旅客鉄道(株)執行役員仙台支社長	**坂井　究**
宮城県知事	**村井　嘉浩**
国土交通事務次官	**森　昌文**

12：00　挨拶・閉会

入場無料
（約300名）
※申し込み受付中

Access Map





会場

ホテルメトロポリタン仙台
4F　千代　東南

【主催】　仙台都市圏の将来を考えるシンポジウム実行委員会
（国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所、仙台市、東北経済連合会、東日本旅客鉄道（株）、宮城県、宮城県バス協会）

●お問い合わせ　事務局：国土交通省東北地方整備局　仙台河川国道事務所　調査第二課
TEL　022-248-0048（直通）



仙台都市圏の将来を考えるシンポジウム

主旨

仙台都市圏では近年、高速道路をはじめとする交通インフラ整備の進展、国際観光交流の活性化などにより、東北地方のゲートウェイとして、物流・交流拠点間の連携強化や交通結節機能の強化が求められています。

このシンポジウムでは、仙台都市圏における物流・人流の現状を踏まえ、東北の真の復興に向け、仙台都市圏はどのような役割を果たすべきかについて議論を行います。

10：15 基調講演

テーマ

「仙台都市圏の物流・人流の現状と課題」

「仙台都市圏が果たすべき役割」

11：00 パネルディスカッション

テーマ

「東北及び宮城県の復興の現状と課題」

「東北の「真の復興」に向けた仙台都市圏が目指すべき方向性」

コーディネーター：東北大学教授（大学院工学研究科土木工学専攻）**奥村　誠**

※敬称略

講師



奥村　誠

東北大学教授

（大学院工学研究科土木工学専攻）

1962年生まれ、京都府出身。専門は都市間交通計画、災害時の交通。京都大学工学部、大学院工学研究科修士課程を修了。京都大学工学部助手、講師、広島大学工学部助教授を経て、2006年より現職。シベリア、ボリビアの国際共同研究プロジェクトの経験から、低密度地域の特徴を生かしつつ、災害を含めて自然環境との共生を図る「隣災」という考え方を提唱している。土木学会論文集編集委員会委員長、都市計画学会東北支部副支部長を務める。

Panelist パネリスト



青沼　正喜

宮城県バス協会会長

1958年生まれ、宮城県大崎市古川出身。昭和56年東北学院大学卒業後、同年、名古屋鉄道（株）へ入社。宮城蔵王観光（株）支配人などを経て、平成16年宮城交通（株）営業部長、取締役営業本部長、常務取締役などを経て、平成25年6月より代表取締役社長に就任。同年、公益社団法人宮城県バス協会会長。

Panelist パネリスト



海輪　誠

東北経済連合会会長

1949年生まれ、東京都出身。東北大学法学部卒業後、東北電力(株)へ入社。企画部課長、企画部部長、副理事企画部部長、取締役企画部長、上席執行役員新潟支店長、取締役副社長 IR担当、取締役社長、取締役会長を経て、2015年6月一般社団法人東北経済連合会　副会長へ就任し、2016年6月より現職。

Panelist パネリスト



郡　和子

仙台市長

1957年生まれ、仙台市出身。東北学院大学経済学部卒業後、東北放送(株)入社。1997年に同解説委員、2005年に同報道制作局部長を経て、衆議院議員へ当選。2011年には内閣府大臣政務官、東日本大震災復興対策担当大臣政務官・宮城現地対策本部長へ就任。2014年には4期目となる衆議院議員に当選し、2017年8月より現職。

Panelist パネリスト



坂井　究

東日本旅客鉄道㈱執行役員仙台支社長

1961年生まれ、新潟県出身。東京大学法学部卒業後、日本国有鉄道へ入社。1987年に東日本旅客鉄道(株)へ入社し、新潟支社総務部人事課長、人事部課長、横浜支社総務部長、総合企画本部経営企画部担当部長、財務部長、執行役員総合企画本部経営企画部長を経て、2017年6月より現職。

Panelist パネリスト



村井　嘉浩

宮城県知事

1960年生まれ、大阪府出身。防衛大学校卒業後、陸上自衛官に任官。ヘリコプターパイロットとして陸上自衛隊東北方面航空隊に配属。1992年に自衛官を退職し、松下政経塾に入塾。1995年宮城県議会議員、2005年には宮城県知事選挙に当選し現在4期目。

Panelist パネリスト



森　昌文

国土交通事務次官

1959年生まれ、奈良県出身、博士（工学）。東京大学工学部土木工学科卒業後、建設省入省。アメリカ合衆国連邦運輸省道路庁、建設省土木研究所ITS研究室長、九州地方整備局福岡国道事務所長、道路局高速道路課長、道路局企画課長、大臣官房技術審議官、近畿地方整備局長、道路局長、技監を経て、2018年7月より現職。

申込方法

下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX または E-mail でお申込ください。

●お申し込み先・お問い合わせ先

国土交通省東北地方整備局　仙台河川国道事務所　調査第二課

TEL：022-248-0048（直通）　FAX：022-248-4164　E-mail：thr-sendai01@mlit.go.jp

■申込み締切日■　１月２５日（金）

参加申込書

氏　名		所属（勤務先）	
住　所	県　　市・町・村		
参加人数	名	連絡先	TEL　　－　　－

※個人情報は、当シンポジウムの開催に必要な範囲内で使用させていただきます。

別　添　　仙台河川国道事務所

仙台都市圏の将来を考えるシンポジウム
～東北の真の復興に向けて～
取材登録書

平成３１年２月３日（日）に開催する上記シンポジウムにつきまして、
取材を希望される報道機関におかれましては、会場準備等のため、
事前に登録をお願いします。

FAX送信期限：平成31年1月28日（月）17時まで

1．報道機関名（会社名及び部署名）

2．氏名等

ご氏名 （複数で出席される場合は代表者のみで結構です）	連絡先 （当日連絡可能な携帯番号等）	人数 （代表者を含む）

3．送付先

FAX：022-248-4164

（　国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所　調査第二課あて　）